後援会事業実施報告書

・申請教員名　松本光太郎
・事業Ｎｏ．1-44
・件名、活動内容

2026 年 9 月 9 日～11 日に、ゼミ旅行として学生 14 名が台湾・台北に行きました。ゼミ旅行ですので、一緒に移動して、一緒に食事をとり、一緒に時間を過ごし、親睦を深めることが目的の一つです。また、目的地を海外にしたのは、コロナ禍を経て、海外に行く学生が減り、外の世界を見る機会を今後も持たない可能性が小さくないと考えたためです。よって海外に出て学生の殻を破ることがゼミ旅行のもう一つの目的でした。

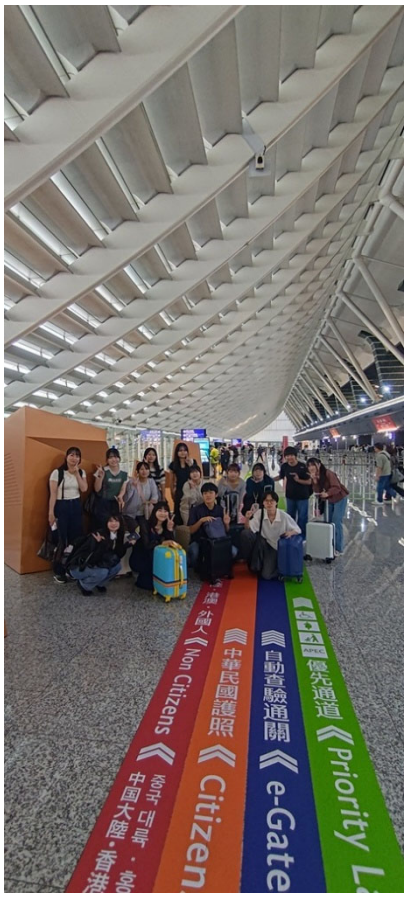
実際、14 名中、13 名が初海外で、初めてパスポートを取得しました。飛行機が初めての学生も多かったです。これらも外の世界を知る経験です。

1 日目には、成田空港で待ち合わせをして、飛行機で台北・桃園空港に向かいました。台北に到着し、台北駅近くのホステルに荷物を置きました。その後、一緒に食事に出かけ、夜市などを楽しみました。

2 日目は個人行動でした。事前に各自行きたい場所ややりたいことを調べて、各々行動しました。

3 日目は、午前中に龍山寺に一緒に行き、午後桃園空港に向かい、成田空港に向かいました。成田空港で解散しました。

ゼミ旅行で得た学びは、①普段いる環境とまったく違う場所に飛び込んでみる経験です。普段食べたことない食事、匂い、ルールなど経験しました。宿泊したホステルには、台湾人だけなく、いろんな国の人がいて、彼らから話しかけられることもありました。②2 日目の個人行動は、家族旅行や修学旅行のような計画された旅程ではなく、自分の望む場所ややりたいことを探して、調べ、実行に移す点で、学生にとってこれまで経験の少ないことでした。一方で、教員がいるので、困ったときは連絡できる安心感もあるため、個人旅行とは違います。以上より、今後若い学生がより積極的に自ら望む外の世界に飛び込んでいく練習が本ゼミ旅行の学びであったと言えます。


優先通道《Priority
自動查驗通關《e-Gate
中華民國護照《Citizen
中國大陸・香港・澳門及外國人《Non Citizens




CRR
ROCK'N